

## 第8期 事業報告

自 平成29年10月 1日

至 平成30年 3月31日

一般財団法人 大阪大学産業科学研究協会

### 1. 活動方針

科学技術による産業の発展に貢献するために、産学間の連携をより一層緊密にし、事業化等も視野に入れた新たな連携方策の展開を図っていく必要があります。本協会は、真の産学連携の実をあげるべく、大阪大学産業科学研究所関連の研究成果のシーズを広く世の中に情報発信し、産業界との橋渡しが出来るような事業を積極的に展開していきます。先端科学技術知識の産業界への普及事業、新産業の創造に向けた新産業創造支援事業、産業界のニーズに基づく新技術の実用化を図る開発研究プロジェクト事業を中心に、更なる産学連携事業の発展を目指します。

### 2. 先端知識普及事業

#### (1) 産研テクノサロン

大阪大学産業科学研究所との共催にて2回開催した。

開催状況：

回	開催日 会場	内容	参加 人数
85	平成29年11月10日 13:30~18:30 大阪富国生命ビル4F まちラボ	<p>【テーマ】サイエンス型産業イノベーションに向けて</p> <p>【プログラム】</p> <p>サイエンス型産業復興に向けて 京都大学 大学院 総合生存学館 教授 山口 栄一</p> <p>ナノ・バイオテクノロジー産業の現状と展望 三菱総合研究所 政策・経済研究センター長 亀井 信一</p> <p>バイオナノテクノロジーの応用展開 大阪大学 産業科学研究所 教授 谷口 正輝</p> <p>今、1細胞が熱い！ 医薬、診断、匂い、微生物の世界において新しくできるようになったこと 大阪大学 産業科学研究所 教授 黒田 俊一</p> <p>親睦交流会(会場:ルームF)</p>	75
86	平成30年2月2日 13:30~18:30 大阪富国生命ビル4F まちラボ	<p>【テーマ】情報テクノロジー・イノベーションに向けて</p> <p>【プログラム】</p> <p>デジタルが変えるビジネス ガートナージャパン株式会社 代表取締役社長 日高 信彦</p> <p>パナソニックにおけるAIの取組み パナソニック株式会社 ビジネスイノベーション本部</p> <p>AIソリューションセンター 部長 岩崎 正宏</p> <p>データビリティフロンティア機構と共創イノベーション 大阪大学 データビリティフロンティア機構 教授 春本 要</p> <p>対話システムにおける暗黙的確認による知識獲得 大阪大学 産業科学研究所 教授 駒谷 和範</p> <p>親睦交流会(会場:ルームF)</p>	69

## (2) 産研ざっくばらんトーク

産研の教員が研究内容を分かりやすく紹介することを通じて、研究や技術についての理解を深めるとともに、参加者とのざっくばらんな会話を通じて交流を深めていただくことを主眼にした「産研ざっくばらんトーク」を産業科学研究所との共催で3回開催した。

(会場：大阪富国生命ビル4階 まちラボ)

開催状況：

回	開催日	話者	テーマ	参加人数
13	平成29年10月27日	槇原靖 准教授	歩容認証:歩き方の個性に基づく個人認証	10
14	平成29年12月8日	黒田俊一 教授	ヒト型嗅覚センサーの開発 匂い定量化による新しいビジネス	13
15	平成30年1月26日	関野徹 教授	低次元ナノ構造チタニア 環境・エネルギー・デバイス・医療へ向けて	13

## (3) 学術講演会

第73回学術講演会を産業科学研究所との共催で開催した。

シンポジウムテーマ：「産業科学におけるAIのインパクト」

開催日：平成29年11月22日

場所：大阪大学産業科学研究所 管理棟 講堂

## (4) 協会ホームページによる情報提供並びに研究所活動の紹介

<http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/RAIS/index.html>

## 3. 新産業創造促進事業

### (1) 新産業創造研究会

産業科学研究所との共催で、以下の3研究会を開催した。

半導体新規化学プロセス研究会...平成16年度より継続開催

担当教員：第2研究部門 半導体材料・プロセス研究分野 小林光 教授

会員数：12社(平成29年10月現在)

活動内容：シアン処理による欠陥消滅、硝酸酸化等、新規化学反応を用いた半導体新規化学プロセスの最新技術の紹介と実用化を目指した議論を行う。

活動状況：

回	開催日	場 所	内 容	参加人数
平成29年度 第2回	平成29年 11月10日	大阪大学 産業科学研究所	デバイス・材料から見たアナログ技術 他	15
平成29年度 第3回	平成30年 3月16日	大阪大学 産業科学研究所	シリコン系活物質の高容量バッテリーへの 適用技術他	23

バイオナノフォトニクス新産業創造研究会

担当教員：第3研究部門 生体分子機能科学研究分野 永井健治 教授

会員数：10社(平成29年10月現在)

活動内容：蛍光・化学発光タンパク質を利用したバイオ研究の可能性を探る会。

活動状況：

回	開催日	場所	内容	参加人数
平成29年度 第2回	平成29年 10月13日	大阪大学産業科学研究所 管理棟・講堂	ライトシート顕微鏡、ライトフィールド顕微鏡について	22
平成29年度 第3回	平成30年 3月16日	富国生命ビル4階 ルームA	格子光シート顕微鏡による超解像3Dライブイメージング	

核酸を標的とする低分子創薬研究会

担当教員：第3研究部門 精密制御化学研究分野 中谷和彦 教授

会員数：7社（平成29年10月現在）

活動内容：核酸と低分子の相互作用や、構造、創薬への取り組みなどを紹介・啓蒙することを趣旨とした研究会。

活動状況：

回	開催日	場所	内容	参加人数
平成29年度 第3回	平成29年 10月12日	富国生命ビル4F ルームA	核酸構造に基づくNMR創薬	14
平成29年度 第4回	平成29年 12月15日	富国生命ビル4F 立命館大学演習室	米国スクリップス研究所 M. D. Disney 博士講演	34

## （2）新産業創造支援事業

プリントド・エレクトロニクス研究会

担当教員：先端実装材料研究分野 菅沼克昭 教授、先進電子デバイス研究分野 関谷毅教授、ソフトマテリアル研究分野 安蘇芳雄 教授、東大 竹谷純一 教授

会員数：112社（平成29年10月現在）

活動内容：講演と情報交流会（懇親会）。プリントド・エレクトロニクスに関する国内外の最先端技術を分かりやすく紹介する。

活動状況：

回	開催日	場所	内容	参加人数
平成29年度 第3回	平成29年 11月30日	大阪/千里ライフサイエンスセンター ラーフホール	「噂の新素材 ナノセルロース 基礎から応用」(公開シンポジウム)	153
平成29年度 第4回	平成30年 1月26日	東京・汐留：トッパン・フォームズ本社	～次世代IoT・AIとPE～(公開シンポジウム)	77

新世代パワー半導体実装技術開発コンソーシアム（新規、略称：WBG実装コンソーシアム）

担当教員：第2研究部門 先端実装材料研究分野 菅沼克昭 教授

会員数：33社（平成29年10月現在）

活動内容：ワイド・バンド・ギャップ・半導体（WBG）関連事業等に関する情報発信とWBGに関する基礎研究と技術開発を推進する。年4回の定例研究会のほか、テーマごとに4つのワーキンググループに分かれて随時活動。

活動状況：

回	開催日	場所	内容	参加人数
平成29年度 第2回	平成29年 10月18日	産業科学研究所 インキュベーション棟 講義室	パワーアシスト機器の現状と今後、 そこで求められるパワー半導体他	55
平成29年度 第3回	平成30年 1月24日	産業科学研究所 インキュベーション棟 講義室	定常熱勾配法による熱抵抗評価の 基礎研究他	53
平成29年度 第4回	平成30年 3月29日	産業科学研究所 インキュベーション棟 講義室		

### みどり《適塾》

担当教員：第3研究部門 生体分子機能科学研究分野 永井健治 教授

主催：みどり《適塾》会（産業科学研究所、産研協会、テラプロジェクトの有志による任意団体）

協力：産研協会

活動内容：光る植物技術等の『みどり』テクノロジー」を大学・企業・行政・市民と連携しながら社会に役立てることを目的としその方法等を議論するデザイン思考勉強会。

活動状況：

回	開催日	場所	内容	参加人数
第4回	平成29年 12月2日	グランフロント大阪 北館タワーC902号室	遺伝子組み換え植物の社会実装化 に向けて	14
第5回	平成30年 3月10日	グランフロント大阪 北館タワーC902号室	遺伝子組換えカイコの研究開発と 産業利用の現状と展望	15

「戦略的基盤技術高度化支援事業」補完研究管理

- ・平成21年度戦略的基盤技術高度化支援事業「高シリコンステンレス鋼の圧延と鍛造の複合加工による超微細鋼の創成とその製品開発」補完研究の事業管理：3月末終了
- ・平成23年度戦略的基盤技術高度化支援事業「薬剤の低付着性を実現する打錠金型製造技術の研究開発」補完研究の事業管理：3月末終了

### (3) 企業リサーチパーク運営支援

利用企業の獲得活動の支援を行った。

企業リサーチパーク利用状況（平成30年2月現在）

利用率 =  $2252 \text{ m}^2 / 2547 \text{ m}^2 = 88\%$       企業数 = 25社

## 3. 開発研究プロジェクト事業

### (1) 開発研究プロジェクト

産業界（企業）の要請（ニーズ）に沿ったテーマを設定し、産研の協力のもと、開発研究プロジェクトを開始した。当初、産研企業リサーチパークの利用を想定していたが、制度面が未整備であるため、産研企業リサーチパークの利用は見送った。

実施状況：

プロジェクト名	内容	
Team A	参加企業名	株式会社 Office FUKUROU
	連携関係	産研知能アーキテクチャ研究分野（沼尾教授） 東京都市大学との共同研究

	テーマ	コンサート観客の感性ビッグデータに基づく自動作曲の研究
	期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
	利用スペース	梅田オフィス

## 4. 会議

### (1) 理事会

#### 第 7 期第 3 回理事会

開催日：平成 29 年 11 月 10 日 場所：富国生命ビル 4F ルーム F

以下の報告事項の確認および審議事項の承認を行った。

#### 1. 決議事項

(1)(第 1 号議案) 第 7 期事業報告及び本決算について

(2)(第 2 号議案) 第 8 期修正事業計画(案)及び予算(案)について  
・理事の選任結果

#### 2. 報告事項

(1) 第 9 期の予算見込みについて

詳細は、第 7 期第 3 回理事会議事録に記載し。

#### 第 8 期第 1 回理事会

開催日：平成 29 年 11 月 10 日 場所：富国生命ビル 4F ルーム F

以下の報告事項の確認を行った。

#### 1. 報告事項

(1) 第 7 期第 2 回評議員会について

第 7 期第二回評議員会は平成 29 年 11 月 10 日開催予定であったが、出席者数が議決に必要な数に達しなかったため、後日メールにて審議することとなった。

#### 第 8 期第 2 回理事会

開催日：平成 30 年 3 月 7 日 場所：大阪大学 産業科学研究所 管理棟 中会議室

以下の決議事項の承認および報告事項の確認を行った。

#### 1. 決議事項

(1)(第 1 号議案) 第 9 期の事業計画及び予算について

(2)(第 2 号議案) 評議員選定委員の選任

(3)(第 3 号議案) 賛助員規程の改訂

(4)(第 4 号議案) 特別会員について

(5)(第 5 号議案) 日本電気計測器工業会(JEMIMA)入会について

#### 2. 報告事項

(1) 第 7 期第 2 回評議員会メール審議結果について

(2) 第 8 期の事業及び決算の見通し

(3) 事業年度変更に伴う役員・評議員の任期について

### (2) 評議員会

#### 第 7 期第 2 回評議員会(メール審議)

実施日：平成 29 年 11 月 21 日～11 月 30 日

## 1. 審議事項

(1)(第1号議案) 第7期決算報告書について

(2)(第2号議案) 定款変更について

詳細は、第7期第2回評議員会議事録に記載。

## (3) 監事会

開催日：平成30年4月24日 場所：富国生命ビル4F  
第8期の業務および財産の状況について監査を実施。

## 5. 協会会員の増減

会員数：法人42社、個人1名(平成29年10月現在)

以上